

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					6294	難病患者等地域支援対策推進事業				保健福祉部	保健所保健・感染症課
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	所属コード	215500
大綱（取組）	Ⅳ「誰もが地域で輝く未来」	1.3 3.8 10.2		5-3							難病患者とその家族による障害福祉サービスの利用支援等を図るため、難病医療相談会や難病訪問看護師等研修会等、各種の福祉サービスを行う。	難病患者やその家族の疾病等に関する不安を軽減するとともに、患者のＱＯＬの向上や社会参加を促す。	
施策	4 誰もが健康で生きいきと暮らせるまち												

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
平成9年度の中核市移行に伴い難病患者地域支援対策推進事業を開始。 特定疾患承認申請等の県への進達は、平成10年に県から任意移譲事務の追加提示を受け市の事業として実施している。	難病患者等居宅生活支援事業は、平成25年度に総合支援法が施行となり障害者福祉サービスに一元化された。平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され医療費助成対象疾病（指定難病）が56疾患から110疾患に拡大し、平成27年7月に306疾患、平成29年4月に330疾患、平成30年4月に331疾患、令和元年7月に333疾患、令和3年11月に338疾患、令和6年4月に341疾患、令和7年4月に348疾患と順次拡大している。	総合支援法の施行に伴い、難病患者の障害福祉サービス利用に関する相談件数の増加が見込まれる。 医療費助成対象疾病（指定難病）が、年々拡大していることや社会情勢の変化（高齢化や家族形態の変化等）により、多種多様で包括的な相談や件数の増加が予想され、体制の充実が必要である。	難病患者とその家族は、種々の不安を抱えており、情報提供や福祉サービスの利用支援等を常に望んでいる。

2 事業進捗等（指標等推移）

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針		
指標名		指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度	2028年度	中間指標	最終指標
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2021年度	2025年度
対象指標	指定難病医療費受給者証の所持者 医療費助成対象疾病（指定難病）	人 （疾病数）			2578 （338）		2675 （338）		2741 （341）								
活動指標①	難病医療相談会の開催回数	回		3	1	3	2	2	1	2		2		2	2		
活動指標②	難病訪問看護師等研修会の開催回数	回		1	1	1	1	1	1	1		1		1	1		
活動指標③																	
成果指標①	難病医療相談会の参加者数	人		50	27	50	25	40	32	40		40		40	40	50	50
成果指標②	難病訪問看護師等研修会受講者数	人		40	17	40	15	20	19	20		20		20	20	40	40
成果指標③	保健師による相談と訪問件数	人		200	559	250	621	400	653	400		400		400	400	200	200
単位コスト（総コストから算出）	相談会及び研修会参加者、相談、訪問1人あたりのコスト	千円			27.5		26.5		38.2	39.1		38.6		38.6	38.6		
単位コスト（所要一般財源から算出）	相談会及び研修会参加者、相談 訪問1人あたりのコスト	千円			27.4		26.4		38.1	39.0		38.4		38.4	38.4		
事業費		千円			673		792		868	1,268		1,000		1,000	1,000		
人件費		千円			15,902		16,738		26,024	16,738		16,738		16,738	16,738		
歳出計（総事業費）		千円			16,575		17,530		26,892	18,006		17,738		17,738	17,738		
国・県支出金		千円			80		81		73	88		81		81	81		
市債		千円															
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円															
その他		千円															
一般財源等		千円			16,495		17,449		26,819	17,918		17,657		17,657	17,657		
歳入計		千円			16,575		17,530		26,892	18,006		17,738		17,738	17,738		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続							

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
・難病医療相談会の開催回数は、悪天候により1回分中止した経緯があり、計画より下回った。 ・難病訪問看護師等研修会は、計画どおり開催した。	・難病医療相談会の参加者数は、予定の開催回数を確保できなかったことから計画を下回ったが、前年度実績は上回った。 ・難病訪問看護師等研修会受講者数は、計画をわずかに下回ったが、前年度実績は上回った。 ・保健師による相談と訪問件数は、計画を大きく上回り、難病患者及び家族の不安軽減につながった。	【事業費】 事業費は、主に進達及び発送のための郵券代となっており、大きな増減はない。 【人件費】 受給者数が年々増加しており、申請に係る業務の増加、保健師の相談、訪問件数の増加、また難病対策地域協議会の設置に向けての検討業務が新たに増えたことにより人件費が増加した。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		3
5 成果指標（目的達成度）		3

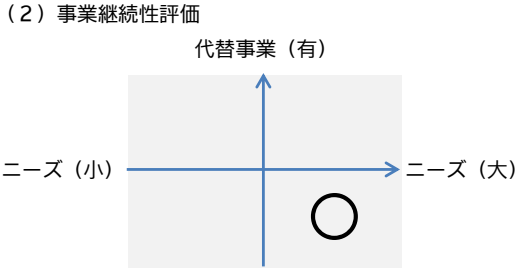
1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）



継続	一次評価コメント
難病医療相談会の開催は1回にとどまったが、1回あたりの参加者数は計画を上回った。また、保健師による相談と訪問件数も計画を上回る結果となっており、需要が高まっていると考えられる。 当該事業は、専門職の講話を聞き、対象者同士が交流を図る機会となり、不安の軽減につながるものであり、難病医療相談会及び難病訪問看護師等研修会を継続して実施する必要がある。 今後は、難病患者の療養生活の支援体制構築のために、難病対策地域協議会の設置に向けての検討を進めていく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
					○

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

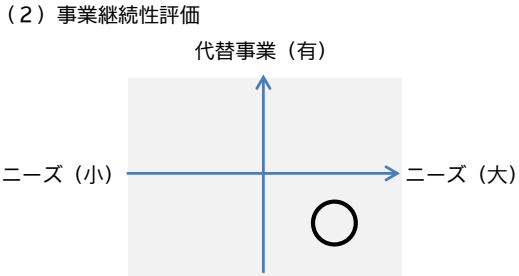
1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）



継続	二次評価コメント
令和6年度は、難病患者やその家族の交流の場となっている難病医療相談会の開催回数が計画値未満の1回となったが、参加者数は前年度を上回った。保健師による相談及び訪問件数は年々増加傾向にあり、ニーズの高まりがうかがえる。 今後においても、難病患者及びその家族が安心して地域社会で暮らしていけるよう、各種福祉サービス利用支援の充実のため、継続して事業を実施する。 なお、医療費助成対象疾病（指定難病）が順次拡大されており、相談件数は今後も増加することが見込まれることから、効率的な実施を検討する必要がある。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画